

～さようなら原発・核燃「3.11」弘前集会～



[基調講演]

原発と軍拡は両立しない

—日本の核政策の大いなる矛盾の背景—



講師 池内 了氏 (名古屋大学名誉教授)

1944年 兵庫県生まれ。専門は宇宙物理学。新潟県原発事故検証総括委員会元委員長。現在は、科学・技術・社会論について多くを発表している。また、新しい博物学を提唱し、科学エッセイや科学時事を新聞や雑誌に執筆している。専門の物理学関連の他、原発・核問題、科学の軍事利用など科学と社会に関する著書多数。

日本は防衛予算を急拡大して敵基地攻撃能力の獲得を始めとする軍事力増強にひた走っていますが、いわゆる「敵国」から見れば、海岸に林立する原発をミサイルで攻撃すれば、簡単に日本を放射能まみれにして屈服させることができます。原発は直ちに「自爆する核兵器」に転じるので、原発と軍拡は明らかに矛盾しています。ところが、岸田内閣は軍拡とともに原発の積極的推進政策を打ち出しました。六ヶ所村の再処理工場を始めとする核施設も含め、日本の核政策の無責任かつ無定見ぶりとその政策の背景について池内了さんと一緒に考えます。

日時 2024年3月16日 (土) 13時30分開場、14時00分開会～16時30分終了
会場 弘前文化センター第3会議室 (弘前市下白銀町 19-4/ TEL 0172-33-6571)
進行 14:10基調講演、15:50リレートーク、16:20アピール採択
参加費 500円

主催 核燃・だまっちゃおられん津軽の会

お問い合わせ 核燃・だまっちゃおられん津軽の会事務局

(永瀬範明 TEL 0172-39-3535/ Mail: snaga@hirosaki-u.ac.jp)

